

実施報告

根室市立成央小学校

*学級数 21 *児童数 441

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道根室高等学校	教諭	城 将 貴	化学・地学・物理・生物

【本事業のねらい】

小学校第5学年「物の溶け方」の単元と第6学年「水よう液の性質とはたらき」の単元において、「物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと」と「水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること」について、児童が実験などの具体的な体験を通じた理解をするための、教員の指導力の向上を目的に実施した。

【実施内容】

1月17日10:30～11:30、小学校理科室において、28名の教員を対象に、小学校第5学年「物の溶け方」、第6学年「水よう液の性質とはたらき」の単元で行う実験（物の溶け方、溶けた物の体積と重さ、水よう液の性質など）を実際に行い、指導の上の留意事項やポイントなどを学んだ。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・物が水に溶けていく様子を目に見える形で実験できる方法を知ることができた。
- ・塩化アンモニウムを水に溶かしたとき、冷たくなることを体験した。
- ・再結晶の観察では、「塩化アンモニウム」を水に溶かした後、温度を下げていることによって、結晶が表れる様子に驚きを感じた。
- ・紫キャベツから色素抽出液をつくる方法について学び、簡単に抽出液を作る体験と、抽出液を利用して様々な水よう液の性質を調べる体験をすることができた。
- ・水よう液の性質を調べるとき、ラミネート加工した台紙と点眼びんを用いると簡単に調べることができることを学んだ。

【来年度以降の実施に向けて】

理科における授業づくりや実験の仕方について、理科専門の講師を招くなどして、定期的に研修を深めていく。